函館市医療・介護連携推進協議会
多職種連携研修作業部会　第２３回会議

日時：令和８年３月３日（火）１９：００～
場所：函館市医師会病院　５階講堂

【次　第】

１　開　　会

２　議　　事

〇報告事項

１．令和７年度　多職種連携研修計画　実施報告（資料１，２，３）
２．研修情報の一元化と提供について（資料４）

〇協議事項

１．令和８年度　多職種連携研修計画（案）（資料５）

３　そ の 他

４　閉　　会

【配付資料】

資料１：報告事項

資料２：令和７年度　多職種連携研修実績表

資料３：第１０回　函館市医療・介護連携多職種研修会　分析・考察

資料４：ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和７年４月～令和８年２月）

資料５：令和８年度　多職種連携研修計画（案）

函館市医療・介護連携推進協議会　多職種連携研修作業部会
第２３回会議　出席者名簿

※★…部会長および副部会長　〇…幹事　（敬称略）

分　野	所属団体	氏　名	勤務先等
	公益社団法人　函館市医師会	〇幹事 花輪　拓哉	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人　函館歯科医師会	川村　曜補	カワムラ歯科クリニック
	一般社団法人　函館薬剤師会	水越　英通 ※欠席	(株)はこだて調剤薬局昭和店
	公益社団法人　北海道看護協会　道南南支部	奴賀　陽子 ※欠席	社会医療法人函館博栄会 函館渡辺病院
	道南在宅ケア研究会	★副部会長 川口　篤也	医療法人道南勤労者医療協会 函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	橋浦　大希	函館五稜郭病院
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会　南支部	★部会長 阿部　綾子	社会医療法人函館脳神経外科 函館脳神経外科病院
	北海道柔道整復師会函館ブロック	室田　多哉	室田整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井　基	益井東洋治療院
介　護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	宮城　智美	函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷　佳子 ※欠席	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	山上　雄大	函館おしま病院　訪問リハビリ
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	白川　直子 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 在宅療養支援室 訪問看護係
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤　禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

資料１

〇報告事項

１．令和７年度　多職種連携研修計画　進捗状況（資料２）

（１）相互理解の促進

①医療関係者向け研修

共　　催：ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

日時・場所・参加人数：

（ア）令和７年５月２２日（木）１７：３０～１８：３０　参加人数：３７名
函館五稜郭病院

（イ）令和７年８月２６日（火）１７：３０～１８：３０　参加人数：３２名
函館医療センター

（ウ）令和８年２月１８日（水）１８：３０～１９：３０　参加人数：２６名
函館市医師会病院

テ ー マ：「退院後，施設でこんな生活をしています
～介護老人保健施設，グループホーム編～」

対　　象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

講　　師：介護老人保健施設グランドサン亀田　支援相談員　甲谷　辰徳　様
事務長　佐々木　誠　様
グループホームにしぼり　ホーム長　戸館　康秀　様

②介護関係者向け研修

共　　催：ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

日時・場所・参加人数：

（ア）令和７年６月１２日（木）１８：３０～１９：３０　参加人数：１０６名
函館競輪場テレシアター

（イ）令和７年８月２１日（木）１８：３０～１９：３０　参加人数：４４名
七飯町文化センター

（ウ）令和８年２月１２日（木）１８：３０～１９：３０　参加人数：２５名
函館競輪場テレシアター

テ ー マ：「回復期機能をもった病床のある病院の事情について
～思いやりのある連携～」

対　　象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者

講　　師：函館稜北病院　回復期病棟退院支援チームマネージャー
理学療法士　大渕　裕　様
高橋病院　総合支援センター　社会福祉士　小林　陽平　様

③オープンカンファレンス
実施なし

④研修会等コーディネート
各関係団体窓口一覧の更新　令和７年９月１日更新内容掲載済み

（２）連携強化
①連携強化
（ア）「第１０回函館市医療・介護連携多職種研修会」
日　　時：令和７年１０月１８日（土）１４：００～１７：００
場　　所：函館国際ホテル
テ ー マ：「病院・在宅・施設の立場から考える
～在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁を越えてみませんか？～」
目　　的：在宅生活の支援を検討する上で弊害となっている地域の壁（課題）を多職種で出し合い共有したうえで，本人の想いを叶えるチーム支援力の向上，在宅生活の限界点を引き上げる可能性について共に考えることを目的とする。
対　　象：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者
座　　長：函館稜北病院　副院長　総合診療科科長　川口　篤也　先生
内　　容：・講演
訪問看護ステーションオハナ　管理者　高畑　智子　様
函館中央病院　副師長　退院支援看護師　奥山　ちどり　様
訪問介護ステーション輪　管理者　酒井　雅子　様
亀田病院　診療部長　清水　平　先生
・グループワーク
・意見交換・質疑応答
参加人数：２００名（グループワーク参加１２１名，聴講５２名，関係者２７名）

（イ）「函館市医師会 在宅医療医会 事業説明会＆第６回研修会」
日　　時：令和８年３月９日（月）１９：００～　※予定
場　　所：函館市医師会病院 ５階講堂
内　　容：事業説明会＆研修会
説明会「函館市在宅医療グループ診療運営事業について」
・代診協力体制について（参加手順，協力金，報告方法等）
・主治医サポート体制について
研修会「在宅医療に関わる診療報酬について(仮)」
対　　象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者および函館市の障がい福祉関係者
定　　員：３０名

②看取り

「令和７年度　函館市医療・介護連携『在宅看取り研修会』」

共　　催：６連協，函館市医師会在宅医療医会，
　　ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

日　　時：令和７年７月１８日（金）１９：００～２０：００

場　　所：函館競輪場テレシアター

テ ー マ：「在宅支援チームの看取りケア～その時，私たちにできること～」

目　　的：６連協協働にて本人家族の思いに寄り添いながら在宅看取りを行った事例を通して，各職種の思いや自職種と多職種の関わりを知ることで，自分自身の看取りケア（やっていてもいなくても）を見つめ直し，その各々の思いがつながることにより地域の看取りケアの支援力の強化を目指す。

対　　象：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者

座　　長：函館市医師会在宅医療医会　会長　函館稜北病院　川口　篤也　先生

内　　容：函館脳神経外科指定居宅介護支援事業所　宮城　智美　様
　　函館市地域包括支援センターよろこび　吉田　千秋　様
　　訪問看護ステーションフレンズ　阿部　光子　様
　　ヘルパーステーション友　石川　美和子　様
　　SOMPO ケア函館昭和　訪問入浴　佐々木　美幸　様
　　訪問リハビリテーション稜北　宍戸　加奈美　様

参加人数：１６５名

③入退院支援

（ア）入退院支援連携強化研修会（ガイド編）

日　　時：令和７年１１月１４日（金）１８：３０～２０：００

場　　所：函館医療センター　大会議室

テ ー マ：「ズレてない？その人のイメージ
　　～視点のズレに気づいて，すり合わせるケア連携へ～」

内　　容：①発表
　　ズレとは何か？
　　～入院から退院までの間の医療，介護間のイメージのズレについて～
　　発表者：北海道ＭＳＷ協会南支部　医療相談員　岩城　朋美　様
　　②グループワーク
　　発表を受けて，普段の日常業務でのイメージのズレはなぜ起こるのか？
　　ズレる事での困り事を話し合い，今後に向けてグループ内でディスカッションをします。

対　　象：医療関係（ＭＳＷ，入退院支援看護師，病棟看護師，リハビリスタッフなど）
　　在宅関係（包括職員，居宅ケアマネジャー，訪問看護師，リハビリスタッフなど）
　　施設関係（施設相談員，施設ケアマネジャー，施設看護師，

リハビリスタッフ，介護職員など）
薬剤師，歯科衛生士，栄養士等
参加人数：５７名

（イ）入退院支援連携強化研修会（サマリー編）
〇「令和７年度　医療・介護連携 ID-Link 活用推進研修会」併催「メディカ体験説明会」
共　　催：道南 Medlka，函館市医療・介護連携推進協議会（情報共有ツール作業部会）
日　　時：令和８年２月１４日（土）１４：００～１６：００
場　　所：市立函館病院　２階講堂
テ ー マ：①「セキュリティ対策について」
株式会社エスイーシー　医療ソリューション事業部
ＩＤ－Ｌｉｎｋサポートセンター　佐竹　美香　様
②「ＩＣＴを活用した“あったか”医療介護連携～治し・支える実践報告～」
名寄市立総合病院　外来看護係長　宮腰　七蘭　氏
参加人数：３７名

〇「令和７年度　もしもノート研修会」
共　　催：函館市医療・介護連携推進協議会（情報共有ツール作業部会），
ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター
日　　時：令和８年３月４日（水）１８：３０～２０：００　※予定
場　　所：函館市民会館　大会議室
座　　長：函館中央病院　事務次長　亀谷　博志　様
内　　容：・講演
（登壇者）【もしもノートについて】
市立函館病院　緩和ケア科科長　山崎　裕　先生
【はこだて医療・介護連携サマリーと併せた活用事例】
訪問看護ステーションフレンズ　　統括所長　保坂　明美　様
・２人ワーク：もしもノートを活用した対話体験
・グループワーク：『地域で取り組む ACP（仮）』
対　　象：函館市，北斗市，七飯町の医療・介護関係者および函館市の障がい福祉関係者
定　　員：５０名

④急変時対応
「令和７年度　函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』」
日　　時：令和８年３月１３日（金）１８：３０～２０：００　※予定
場　　所：函館競輪場テレシアター
テ ー マ：予期せぬ急変に備える力
座　　長：函館中央病院　事務次長　亀谷　博志　様

パネリスト：函館おしま病院　名誉院長　福徳　雅章　先生
グループホーム第３やわらぎ苑　管理者　髙橋　拓子　様
函館市消防本部　救急課長　指導救命士　小松　道　様
定　　員：１００名

（３）多職種連携の専門性の向上

出張講座①
日　　時：令和７年８月８日（金）
場　　所：ライフカレッジ石川公園前
テ ー マ：「看取りについて」
参加人数：６０名（会場参加者４０名，オンライン２０名）

出張講座②
日　　時：令和７年９月１０日（水）
場　　所：函館協会病院
テ ー マ：「もしもノートはこだて」「はこだて療養支援のしおり」など
在宅療養支援に関する函館の資源，活動について
参加人数：９名

（４）人材育成

センター主催研修会への見学参加（各医療・介護系の学校への案内）

２．センターホームページ「コラム」の掲載について

○「医療・介護連携マップで検索できる各機関の機能」について
２～３ヶ月毎にコラム掲載中
・５月２３日掲載「ショートステイ」
介護老人福祉施設シンフォニー　施設長　齋藤　禎史　様
・７月２４日掲載「軽費老人ホーム」
ケアハウス菜の花　施設長　可香　洋平　様
・９月３０日掲載「通所リハビリテーション」
介護老人保健施設やわらぎ苑西桔梗　理学療法士　斉藤　亨　様

資料２

【 令和７年度 多職種連携研修実績 】

	目的（テーマ）および内容	形式 規模（会場）	形態	対象者	レベル	主催/共催	定員	参加者数	時期（実施日時）
（１）相互理解の促進									
	①医療関係者向け研修 「退院後，施設でこんな生活をしています ～介護老人保健施設，グループホーム編～」	中規模 （函館五稜郭病院） （函館医療センター） （函館市医師会病院）	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	８０名程度	３７名 ３２名 ２６名	５月２２日（木）終了 ８月２６日（火）終了 R8年2月１８日（水）終了
	②介護関係者向け研修 「回復期機能をもった病床のある病院の事情について ～思いやりのある連携～」	中規模 （函館競輪場テレシアター） （七飯町文化センター） （函館競輪場テレシアター）	座学講義	医療・介護関係者	初級～中級	ほ・なセンターと共催	１００名程度	１０６名 ４４名 ２５名	６月１２日（木）終了 ８月２１日（木）終了 R8年2月１２日（木）終了
	③オープンカンファレンス	中規模	対話体験 （事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級		１００名程度		実施なし
	④ 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	－	－	－	－		－		９月１日（月） 更新済み
（２）連携強化									
	①連携強化 （ア）「第１０回函館市医療・介護連携多職種研修会」 「病院・在宅・施設の立場から考える ～在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁を越えてみませんか？～」	大規模 （函館国際ホテル）	対話体験型 （シンポジウム・GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	３００名程度	２００名	１０月１８日（土）終了
	（イ）「函館市医師会 在宅医療医会 事業説明会＆第６回研修会」	中規模 （函館市民会館）	座学講義	医療・介護関係者	中級～上級	在宅医療医会と共催	３０名程度		R8年３月９日（月）予定
	②看取り 「令和７年度　函館市医療・介護連携『在宅看取り研修会』」 「在宅支援チームの看取りケア～その時，私たちにできること～」	中規模 （函館競輪場テレシアター）	対話体験 （事例報告）	医療・介護関係者	中級～上級	６連協と共催	１００名程度	１６５名	７月１８日（金）終了
	③入退院支援 （ア）「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催） 「ズレてない？その人のイメージ ～視点のズレに気づいて，すり合わせるケア連携へ～」	小規模 （函館医療センター）	対話体験型 （GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	６０名程度	５７名	１１月１４日（金）終了
	（イ）「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」 「令和７年度　医療・介護連携ID-Link活用推進研修会」 併催「メディカ体験説明会」	中規模 （市立函館病院）	対話体験型 （シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターほか 複数団体との共催	３０名程度	３７名	R8年2月１４日（土）終了
	「令和７年度　もしもノート研修会」	中規模 （函館市民会館）	対話体験型 （GW）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	50名程度		R8年３月４日（水）予定
	④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催） 「令和７年度函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』」	中規模 （函館競輪場テレシアター）	対話体験型 （シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	ほ・なセンターと共催	１００名程度		R8年３月１３日（金）予定
（３）多職種連携の専門性の向上									
	各種出張講座等 ①「看取りについて」	小規模 （ライフカレッジ石川公園前）	講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	出張講座	２０名程度	６０名	８月８日（金）終了
	②「もしもノートはこだて」「はこだて療養支援のしおり」など 在宅療養支援に関する函館の資源，活動について	小規模 （函館協会病院）	講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	出張講座	５～６名程度	９名	９月１０日（水）終了
（４）人材育成									
	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護 学生，教員	未経験者		数名		随時

※　新型コロナウイルスの状況等により，研修会の中止および開催時期，方法等が変更となる場合があります。

資料３

第１０回　函館市医療・介護連携多職種研修会　分析・考察

開催方法：集合開催
テ ー マ：「病院・在宅・施設の立場から考える
～在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁を越えてみませんか？～」
目　　的：在宅生活の支援を検討する上で弊害となっている地域の壁（課題）を多職種で出し合い共有したうえで，本人の想いを叶えるチーム支援力の向上，在宅生活の限界点を引き上げる可能性について共に考えることを目的とする。
目　　標：・在宅支援の現状を振り返り共有することで，この地域の壁（課題）を可視化する。
・本人の想いを叶えるためのチーム支援の工夫とあり方を考える。
・上記を踏まえ，明日から自分たちができることを考える。

【アンケート内の意見】※一部抜粋

＜医師＞
他の職種の仲間への理解が深まり，顔の見える関係も一歩進めることができた。

＜薬剤師＞
訪問看護ステーションオハナ高畑様の患者様（ご家族）への説明について，説明した≠納得したというところ。実際，説明しても理解いただいていないことを体験としてあったので，よくわかる話だと思って聞いていました。

＜相談員＞
在宅療養が選択できるかどうか医療職でも情報が乏しいことがある。そうなると患者さんや家族にも情報が届かないこともある。そのため，今回のようなテーマで，多くの医療介護職が情報を知って，顔の見える関係が築けるのは良い機会と思った。

＜ケアマネジャー＞
在宅復帰，誰しも病院や施設で死にたくない。母方の祖母は施設，父方の祖母は病院にいましたがどちらも家に帰りたいと話をしていました。自分が全面調整するからと約束し退所，退院させました。自分が仕事でも必ず訪問看護，介護の方は仕事中で悪いんだけどと言いながら連絡をくれました。頭が下がる思いです。

＜保健師＞
多職種の方からのお話が聞けて，在宅への壁を多角的に考えることができました。

＜施設相談員＞
　在宅の壁は介護施設でもあります。家族，本人の希望があれば家に帰してあげたいので，外泊をすすめていくなど行っている。

＜介護職員＞
　それぞれの職種の視点からの考え，『壁』などを聴けてよかったことと，同じ席で積極的にディスカッションができ，他業種で何に困っているかを知れて良かったです。

＜管理者＞
　皆で在宅生活の壁を越えるためにはどうしたら良いかを考えることができた。

＜栄養士＞
　登壇した皆さんの内容がとても良かったです。グループワークもいろいろな意見が聞けてよかったです。

【分析・考察】

　研修会の参加人数は，グループワーク席（１２１名）と聴講席（５２名）の参加で関係者を含めると総数２００名であった。

　昨年度からコロナ前の開催方法に戻している。今回も聴講席の方へグループワークへの参加の声掛けをしたところ数名参加され，「グループワークに参加し，意見交換ができてよかった」という声もあったことから，次年度以降も聴講席の方への声掛けを行うとよいのではないかと考える。

　アンケートは，２００名の内９０名からの回収であった。回答方法はアンケート記入用紙に記入した方が４９名，Google フォームで回答した方が４１名だった。次年度も今年度同様に好きな方法を選んで回答してもらうことを考えている。図２の研修テーマへの意見として，よかったが８９名，どちらともいえないは１名だった。

　今回のテーマの「在宅（自宅・施設）生活ムリだよねの壁を越える」というテーマのもと，在宅生活支援における地域の課題（壁）を多職種で共有し，本人の想いを叶えるためのチーム支援の可能性を探ることを目的として実施。アンケートには，「本当にこの患者さんは自宅へ帰れるのか」「この人にとって，どこで生活することが最善なのか」といった，日常業務で誰もが抱えている葛藤や迷いに対し，本研修が新たな視点や気づきを得る機会となったことが多くの参加者に示せたのではないか。特に，在宅支援の現状を振り返る，「在宅は無理」と判断してしまう背景にある地域・制度・専門職側の壁を可視化するという目標については，「壁を作っているのは専門職自身かもしれない」「最初からできないと思わないことが大切」といった記載が複数見られ，目標は概ね達成できたと考えられる。

　「在宅は無理」という判断に対する意識の変化は，多くの回答に共通していたのは，「在宅不可という前に考える」「まずやってみる，試してみる」「多職種で前向きに考えれば可能性は広がる」といった思考の転換であった。これは，在宅生活の限界点が「本人の状態」

だけで決まるのではなく，情報共有の不足，職種間の理解不足，役割分担や連携の未整理，説明したつもりになっている支援者側の姿勢など，支援体制側の課題によって引き下げられている可能性があることに，多職種で気づく機会になったことを示している。

多職種・多事業所参加の意義について，アンケートでは，他職種の考えや悩みを知ることができた，普段関わらない医師・薬剤師・施設職員と話ができた，顔の見える関係が一歩進んだといった意見が多数寄せられた。これは，本研修が単なる知識提供ではなく，立場の違いを理解する場，相手を批判せず尊重する文化を共有する場，地域連携を実感できる場として機能していたことを示している。また，病院・在宅・施設それぞれが同じゴール（本人の想い）を目指すパートナーであるという認識を共有できたことが伺える。

本人の想いを軸にした支援への再認識について，家に帰りたいという患者さんはとても多く，誰しも病院や施設で死にたくないといった記載からは，本人の想いは本来とてもシンプルである一方，それを実現する過程で専門職が複雑にしてしまっている現状も浮き彫りとなった。一方で，家族不在の場合の支援体制，サービス資源の調整の難しさ，説明と納得の乖離など，現実的な課題も率直に共有されており，理想論に終わらずに「では，明日から何ができるか」を考える土台が形成されたと考えられる。

今後への示唆として，「無理」と判断する前に多職種で立ち止まり，自施設・自職種の中に存在する見えない壁を意識的に言語化しながら，本人・家族の想いを中心に役割を柔軟に再構築するチーム支援を試みるとともに，顔の見える関係を日常的な相談・連絡に活かしていくことの必要性を改めて共有する機会となった。

本研修は，在宅生活支援の正解を提示する場ではなく，地域全体で考え続けるスタート地点として大きな意義があったと評価できる。

図１【参加者（アンケート回答者）の職種】

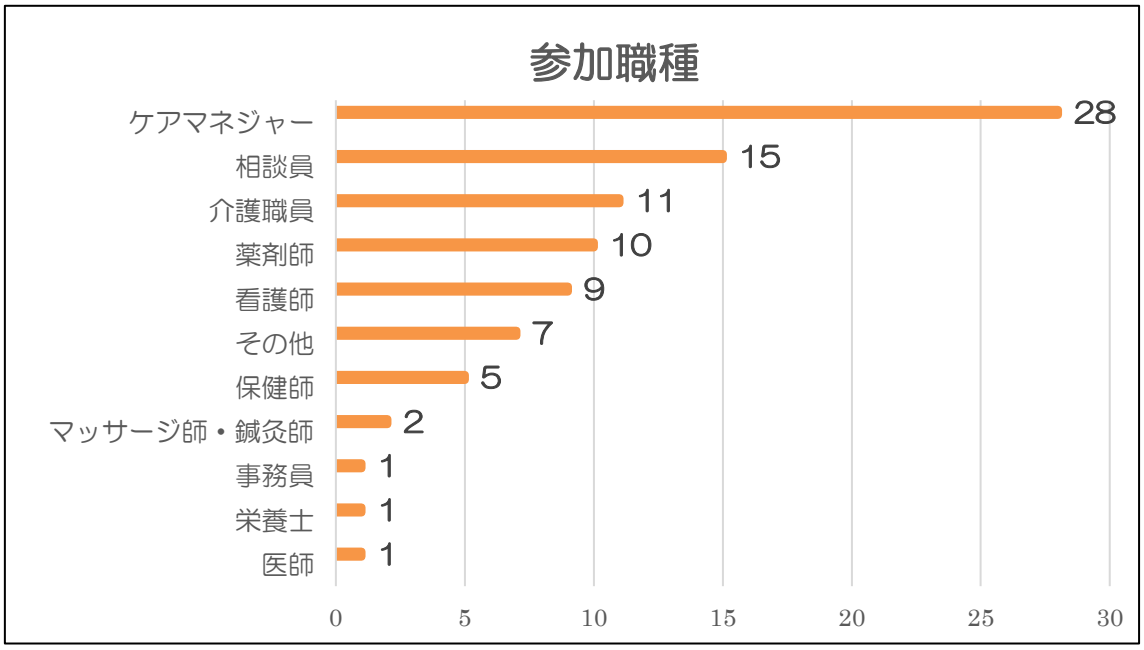

図２【研修テーマへの意見】

よかった	８９名	９８．９％
どちらともいえない	１名	１．１％
よくなかった	０名	０．０％

図３【希望する研修】

①多職種でのグループワーク，事例検討	１０件
②医療・介護の連携に関する内容	９件
③看取り・緩和ケアに関する内容	２件
④適切な情報共有の仕方	１件

資料４

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和７年４月～令和８年２月）

月	研修名称（団体名）	件数
４月	２０２５年度　一般社団法人　北海道精神保健福祉士協会全道大会 「わたしのソーシャルアクション～精神保健福祉士とともに考える」R7年5月２４日，２５日開催 （北海道精神保健福祉士協会主催）	２件
	「医療機関向け虐待対応啓発プログラム ＢＥＡＭＳ　Ｓｔａｇｅ １・２」　R7年4月２６日開催 （函館中央病院主催）	
５月	「ＲＩＦＣＲ ™研修会」R7年6月１４日，１５日開催 （ 函館市，北海道子どもの虐待防止協会道南支部，函館中央病院主催）	２件
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会　講演会 「肩疾患のＡＢＣ　これで明日から肩痛が怖くない」R7年6月１４日開催 （函館鍼灸マッサージ師連絡協議会主催）	
６月	令和７年度第１回家族支援ネットワーク学習会 「家族のコミュニケーションを考える」R7年7月１２日開催 （北海道精神保健福祉士協会主催）	２件
	令和７年度北海道保険医会函館地区支部・本部共催　講演会 「なぜ『黒岩恭子の口腔ケア＆口腔リハビリ』は食べられる口になるのか」R7年8月３日開催 （北海道保険医会函館地区支部・本部共催）	
７月	令和7年度地域アドバイザー養成研修　R7年7月１７日開催 （北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課主催）	５件
	令和7年度ケアラー支援関係機関職員等研修（応用研修）　R7年8月１９日開催 （北海道保健福祉部／福祉局高齢者保健福祉課，子ども政策局子ども家庭支援課主催）	
	道南在宅ケア研究会　２０２５年度会員総会・第５８回定例会 「身寄りのない方の権利どのように守るの？」R7年8月２２日開催 （道南在宅ケア研究会主催）	
	令和７年度第１回難病対策専門部会（難病対策地域協議会）実務者研修会 「これであなたも大丈夫！！神経難病患者の支援～ＡＬＳ患者の支援を中心に～」Ｒ７年９月４日開催 （南渡島保健医療福祉圏域連携推進会議難病対策専門部会）	
	第４１回認知症の人と家族への援助をすすめる全国研究集会ｉｎ北海道 「最後まで『私』らしく生きたい」R7年１０月２６日開催 （認知症の人と家族の会主催）	
８月	第２１回ＭＯＰＮ定例会 「命の現場で考えるＡＣＰ～武田先生の実体験から学ぶ～」R7年9月１８日 （南渡島地域包括緩和ケアネットワーク主催）	６件
	＜特別講演会＞ 「緩和ケアに携わった２０年から見えたもの－岩手医科大学の取り組みを中心に－」R7年9月２６日 （南渡島地域包括緩和ケアネットワーク主催）	
	第７回日本緩和医療学会　北海道支部学術大会 「原点回帰。～北の医療開闢（かいびゃく）の地から～」R7年8月３０日開催 （第７回日本緩和医療学会　北海道支部学術大会事務局主催）	
	第11回ＩＣＮＪ北海道支部道南ブロック研修会　R7年１１月１５日開催 （ＩＣＮＪ北海道支部道南ブロック主催）	
	令和７年度　歯と口腔の健康・オーラルフレイル講演会　R7年１０月２５日開催 （北海道渡島総合振興局保健環境部保健行政室主催）	
	第３０回　道南摂食嚥下研究会 「薬の服薬方法でお困りの方、いませんか？」R7年9月２４日開催 （道南摂食嚥下研究会主催）	

９月	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務職員向けセミナー 「スタートアップセミナー　セミナー１」　R7年１０月２０日～１０月２２日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	４件
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務職員向けセミナー 「離職防止・人材不足解消セミナー」　R7年１１月４日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「栄養士向けスキルアップセミナー」R7年１１月６日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務職員向けセミナー 「スタートアップセミナー　セミナー２」　R7年１１月１８日～１１月２０日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
１０月	令和７年度函館市難病事例検討会（学習会） 「筋萎縮性側索硬化症（ＡＬＳ）の患者の療養支援について」R7年１１月４日開催 （市立函館保健所 保健予防課主催）	３件
	令和７年度第1回歯・口腔に関わる在宅療養支援サポート研修会 「口腔衛生管理体制を始めるにあたって～義務化となることで，知っておきたいこと～」 R7年１２月１２日開催　（道南圏域在宅歯科医療連携室主催）	
	道南在宅ケア研修会　第５９回　定例会 「身寄りのない方の権利，どのように守るの？～現場で生かせる事例集編～」R7年１２月４日開催 （道南在宅ケア研究会主催）	
１１月	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「介護職員向け　スキルアップセミナー」R7年１１月２８日，１２月１９日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	４件
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「介護事業所の管理者・経営者向け　離職防止・人材不足解消セミナー」R7年１２月１１日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「介護事業所　ケアマネジャー・管理者向け　スキルアップセミナー」 R7年１２月１７日，１２月１８日開催　（キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	令和７年度第２回家族支援ネットワーク学習会 「精神科病院と地域のつながり」R7年１２月６日開催 （北海道精神保健福祉士協会道南ブロック主催）	
12月	第２２回ＭＯＰＮ定例会 「これからの家族ケア・シンポジウム」　R8年1月２９日開催 （南渡島地域包括緩和ケアネットワーク主催）	８件
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会　新年交礼会講演会 「これからの時代に必要な鍼灸について『エビデンスからメカニズムまで』」R8年1月１０日開催 （函館鍼灸マッサージ師連絡協議会主催）	
	北海道精神保健福祉士協会　心のケア研修相談 「精神保健医療福祉業務従事者のための心のケア相談研修～予防的ケアを意識した相談技術を学ぶ～」 R8年1月９日開催　（北海道精神保健福祉士協会主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「介護職員向け　スキルアップセミナー」　R8年1月２０日，2月１０日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「介護事業所　ケアマネジャー・管理者向け　スキルアップセミナー」 R8年1月２２日，1月２３日開催　（キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「看護師向け　スキルアップセミナー　宇都宮宏子先生ｉｎ函館」R8年2月１９日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	函館市委託事業：介護人材確保・育成促進事業実施業務　職員向けセミナー 「ここが変わる！ここが使える！令和８年労働法＆助成金の実務最前線」　R8年2月２５日開催 （キャリアバンク株式会社 函館支店主催）	
	専門職向け成年後見セミナー 「高齢者・障がい者支援と司法の連携」　R8年1月２７日開催 （七飯町役場福祉課地域包括支援係主催）	

１月	道南認知症疾患医療連携協議会　研修会 「認知症における『薬剤師視点を学ぶ』」　R８年１月２２日開催 （道南認知症疾患医療連携協議会主催）	５件
	２０２５年度　三団体合同研修 「Ｎｏ　Ｂｏｒｄｅｒ　～ソーシャルワーカーの境界を超えていけ！～」R８年２月７日開催 （北海道医療ソーシャルワーカー協会南支部・北海道精神保健福祉士協会道南ブロック ・北海道社会福祉士会道南地区支部主催）	
	札幌医科大学がんプロ地域セミナー 「函館五稜郭病院における放射線治療機器更新」「肺癌および膵癌に対する高精度放射線治療」 R８年２月９日開催　（札幌医科大学「地域に貢献する北海道がんプロ養成プラン」主催）	
	第９５回五稜郭セミナー 「北海道の地域医療を創る　函館地域連携ＲＩＮＧ『昭和上條医療奨励賞』受賞記念講演会」 R８年２月２０日開催　（函館五稜郭病院主催）	
	第３１回　道南摂食嚥下研究会 「『全介助の方に対する口腔嚥下アプローチ』 ー今さら聞けない認知症、障がい者への対応・考え方についてー」R８年３月１１日開催 （道南摂食嚥下研究会主催）	
２月	2025年度　一般社団法人北海道精神保健福祉士協会　専門研修　二回目 「いまさら訊けない…精神障害にも対応した地域包括ケアシステム ～精神保健福祉士の業務の延長上に「にも包括」の実現社会がある？！～」R８年３月７日開催 （北海道精神保健福祉士協会主催）	２件
	令和７年度　小児等在宅医療連携拠点事業・地域拠点事業　研修会 「災害対策を通して医療的ケアが必要な方と家族の生活を知ろう」R８年３月７日開催 （函館中央病院　総合医療支援センター　こども子育て支援室主催）	
合　計		４３件

（その他）

函館市医療・介護連携支援センター主催	０件
ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催	３件
各団体との共催	３件
函館市医療・介護連携支援センター，ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催	７件

資料５

令和８年度　多職種連携研修計画（案）

（１）相互理解の促進

①医療／介護・障がい福祉関係者向け研修

目　　的：「相互理解」というテーマで，医療関係者には介護・障がい福祉側の事情を介護・障がい福祉関係者に医療側の事情を知っていただく機会とし，お互いの距離や隔たりを縮め，顔の見える関係の中で更に連携を高めることを目的

a．医療関係者向け研修

目　　標：・退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしているかを知ることで，退院後の生活のイメージを深めることができる

・イメージを深めることで，病院での受け入れ時の対応や情報整理，退院支援時の連携力の向上となる

テ ー マ：（仮）退院後，施設でこんな生活をしています

～介護医療院，養護老人ホーム編～

講　　師：介護医療院　相談員か看護師

養護老人ホーム　相談員か看護師

研修時間：１時間（１５～２０分×２名，質疑応答）

内　　容：〇介護医療院

①施設の紹介（配置職員の紹介など）

②利用者の視点で施設の１日の流れ

③施設でできるケアについて（施設で行っている医療処置について等）

例）医療ニーズがある方への対応

④退院時の情報共有の必要性について

例）食形態等病院からの情報によって，退院後の生活で工夫をしている等

⑤事例紹介

例）退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしている

⑥介護医療院の事情について

⑦介護医療院の強みについて

〇養護老人ホーム

①施設の紹介（配置職員の紹介，特養と養護老人ホームの違いなど）

②利用者の視点で施設の１日の流れ

③施設でできる対応について（医療処置，通院対応等）

例）施設で可能な医療処置，通院対応，外部サービスの利用等

④退院時の情報共有の必要性について

例）食形態等病院からの情報によって，退院後の生活で工夫をしている等

⑤事例紹介

例）退院後のご本人がどのような環境でどのような生活をしている

⑥養護老人ホームの事情について

⑦養護老人ホームの強みについて

開催方法：集合開催（キャラバン方式　全３回実施予定）
時　　期：医療関係者向け研修も介護関係者向け研修も５月，８月，年明けの２月を予定
・１回目　５月　　日（　）１７：３０～１８：３０（予定）　会場は市立函館病院
・２回目　８月　　日（　）１７：３０～１８：３０（予定）　会場は新都市病院
・３回目　R9年２月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館市医師会病院
タイムスケジュール：（例）挨拶　１～２分
講演　講師２名　各２０分（計４０分）
質疑応答　１５分
挨拶　１～２分
申し込み方法：Ｇｏｏｇｌｅフォーム（事前質問を受付予定）

ｂ．介護・障がい福祉関係者向け研修
目　　標：・介護・障がい福祉関係者に，医療機関の病床機能や対象となる患者像，入院可能期間の違い，役割等を理解してもらうことで，スムーズな連携につなげることができる
・病院の中で行われている入退院支援の流れなどを知ることで，自分たちに行える必要な連携を考えることができる
テ ー マ：（仮）現場で知っておきたい精神病床・医療療養病床の役割と事情
～思いやりのある連携～
講　　師：医療相談員か退院支援看護師
研修時間：１時間（１５～２０分×２名，質疑応答）
内　　容：〇精神病床，医療療養病床について
①病棟の役割や要件について（入院期間など）
②患者像・入院理由について
③精神病床の事情について
④入退院時の情報共有の必要性（入退院時加算などを含めた話）
開催方法：集合開催（同テーマ，同講師，同内容で計３回開催予定）
１，３回目は函館市で実施予定，２回目は北斗市または七飯町で実施予定
時　　期：医療関係者向け研修も介護関係者向け研修も５月，８月，年明けの２月を予定
・１回目　５月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館競輪場テレシアター
・２回目　８月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は北斗市または七飯町の予定
・３回目　R9年２月　　日（　）１８：３０～１９：３０（予定）　会場は函館市医師会病院
タイムテーブル：（例）挨拶　１～２分
講演　講師１名の場合，４０分
講師２名の場合，各２０分（計４０分）
質疑応答　１５分
挨拶　１～２分
申し込み方法：Ｇｏｏｇｌｅフォーム（事前質問受付）

②オープンカンファレンス（年度中に検討）

③研修会等コーディネート
各関係団体へ６月頃に確認書類配布，医療・介護各関係団体窓口一覧の内容の確認，更新

（２）連携強化

①第１１回函館市医療・介護・障がい福祉連携多職種研修会（案）

共　　催：ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター

日　　時：令和８年１０月１７日（土）１４：００～１７：００　※予定

場　　所：函館国際ホテル

目　　的：これまでの医療・介護連携に障がい福祉分野の方々に参加してもらい，それぞれの役割や専門性を互いに理解し，患者・利用者および障がい者（児）が切れ目なく安心して地域で生活できる支援体制を構築するため，多職種間の連携意識と実践的な連携力を高めていくことができる

目　　標：・医療・介護・障がい福祉それぞれの支援の視点を知り，互いの役割・制度の違いを理解する

・連携が必要な場面を互いに共有し，理解する

・医療および介護，障がい福祉関係者に必要な知識・技能に関する情報共有を行える多職種連携の新たな土台の構築（顔の見える関係づくりの構築）

テ ー マ：（仮）医療・介護・障がい福祉の垣根を越えて つながるあらたな一歩

（サブテーマ案①）～知ろう！語ろう！繋がろう！～

（サブテーマ案②）～みんなで考える連携の課題～

（サブテーマ案③）～暮らしを支える連携を考える～

講　　師：座長：（川口先生）

講師：未定

〇候補

医療側：ＭＳＷ

介護側：包括職員，ＣＭ

障がい福祉：相談支援専門員

内　　容：〇講演内容

・「医療・介護・障がい福祉」それぞれの連携における現状と課題

・現場で起こりやすいすれ違い　等々

〇グループワーク

・パターン①（ワールドカフェ風）※席替えあり

①各分野同士で連携における困りごとについて話し合う

（医療・介護・障がい福祉それぞれの分野での席）

②席替え後，①で話し合ったことを多職種で共有し合い更に深める

（多職種での席）

・パターン②（ワールドカフェ風）※席替えあり

①多職種で連携における困りごとについて話し合う

②席替え後，①で話し合ったことを多職種で共有し合い更に深める

・パターン③※席替えなし

多職種でのGWとし，２つのテーマについてディスカッション

②看取り

「函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』」

※道南地区老人福祉施設協議会，道南地区老人保健施設事務長連絡会，南北海道グループホーム協会，函館市有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅ネットワーク，在宅医療医会との共催にて開催を検討

③入退院支援

「入退院支援連携強化研修会（ガイド編）」（退院支援分科会主催）

「入退院支援連携強化研修会（サマリー編）」（情報共有ツール作業部会主催）

※各部会・分科会にて開催検討

④急変時対応（急変時対応分科会実務者会議主催）

※実務者会議にて検討

（３）多職種連携の専門性の向上

〇函館市における多職種連携への理解の促進

・出張講座メニューの追加・更新及び各関係団体へ周知・案内の継続

（４）人材育成

〇センター主催研修会への見学参加

・市内の医療系・福祉系の教育機関に研修案内・出前講座を継続する

・出前講座メニューの追加・更新及び各教育機関への周知・案内の継続